

新城歌舞伎

本日の催し物

◆口上

鳥原歌舞伎

◆第一幕

野田城の戦い

信玄終焉の地の場

山・白子歌舞伎

◆第二幕

弁天娘女男白浪

五人男

稲瀬川勢揃いの場

鳥原歌舞伎 子ども

第一幕 野田城の戦いの一場面を新城歌舞伎用に書き下ろした初公開作品をお楽しみください。

第二幕 弁天娘女男白浪(五人男)は新城市の子供たちによる感動の熱演です。是非ご覧ください。

令和5年 **11/19日** 新城文化会館 大ホール
開場13:00 開演13:30 終演15:00(予定)

【全席自由・税込】 一般700円 高校生以下無料

8月11日(金)発売開始

*各出演団体からお買い求めいただけます。

新城文化会館..... 0536-23-2122
新城文化会館オンラインチケットサービス HPよりご購入いただけます。
ピアゴ新城店 0536-23-3111

お問い合わせ

新城文化会館 ☎ **0536-23-2122**

8:30~17:00

アクセス

- ◎公共交通機関でお越しの場合: JR飯田線新城駅から徒歩10分
- ◎車でお越しの場合: 新東名高速道路「新城」ICより10分、東名高速道路「豊川」ICより20分、豊橋より50分
- ◎駐車場のご案内: 駐車場180台

〒441-1381 愛知県新城市字下川1-1 <https://www.shinshiro-bunka.jp/>
*休館日: 毎週月曜日(祝日の場合は翌日以降の最初の平日)

主催: 新城市、新城市教育委員会 主管: 新城地域文化広場文化事業運営委員会、新城歌舞伎保存会

当日のご案内

◆十三時

開場

◆十三時三〇分

口上

鳥原歌舞伎

◆第二幕

野田城の戦い

信玄終焉の

地の場

山・白子歌舞伎

◆十四時二〇分

休憩

◆第二幕

弁天娘女男白浪

稲瀬川

勢揃いの場

鳥原歌舞伎

子ども

第一幕「野田城の戦い」は戦国時代に新城で起きた出来事を題材に、新城市の老平美喜代さんが書き下ろした新作創作歌舞伎です。

第一幕
創作歌舞伎

戦国天正合戦絵巻

野田城の戦い

信玄終焉の地の場

(せんごくてんしゅうかつせんえまきのだじょうのたたいしんげんしゅうえんのちのば)

野田城の戦いは元亀四年(一五七三年)三河国野田城をめぐる、武田信玄率いる武田軍と徳川軍の間で行われた戦いです。

野田城の城主菅沼定盈(すがぬまさだみつ)は、攻め来る武田軍を相手に二カ月余り籠城を繰り広げますが城の井戸水を抜かれてしまい進退窮まっていた。そこに武田軍から降伏を促す矢文が届きます。

定盈一人首を差し出せば城兵の命を救うというのです。定盈は自分の命と引き換えに皆が助かるならと城を明け渡す事にしましたが家臣の今泉四郎兵衛はせめて一矢報いたいと家康からもらった鉄砲で信玄に一泡吹かせてやりたいと言いつち出します。たまたま城に居た笛の名手に笛を吹いてもらい、音色で信玄をおびき出し鉄砲を仕掛けて間に紛れて信玄を撃ちたいと、鉄砲の名手(鳥居三左衛門)と共に定盈に願ひ出たのです。

城明け渡しの前夜、野田城から笛の音が流れて来ると、笛の大好きな信玄はお気に入り入りの場所を聞き始めます。すると、足元にけがをして傷ついた狐がいたので。優しい信玄は、狐の手当てをして逃がしてやりま。その時鉄砲が放たれました。

翌日信玄が鉄砲に撃たれたのか解らない中、定盈は城を明け渡す為ドドメキ城に赴きます。さあ、どうなるか……。

野田城を巡る攻防で、武田信玄は鉄砲で撃たれたという伝説が残されています。その時に使われた鉄砲は「信玄砲」と呼ばれ、野田城主菅沼家の菩提寺である宗堅寺で大切に守られてきました。

信玄は野田城を落としたあと、しばらくして亡くなりますが、そのとき、三年間死を隠すようにと遺言をしました。このため信玄の死には謎めいた点が多く、こうした伝説も生まれたと考えられています。

現在、信玄砲が新城市指定文化財に指定され、新城市設楽原歴史資料館で見ることが出来ます。

風林火山



第二幕

弁天娘女男白浪 稲瀬川勢揃いの場

(通称 女男白浪 五人男)

幸兵衛と宗之助が、ゆすりをはたらく二人を仲裁した玉島に礼をしようとする、玉島は実は日本駄右衛門だと正体をあらわし、「店の金を全部だせ」と脅します。そこへ弁天小僧と南郷も押し入ってきますが、偶然にも浜松屋の主人の幸兵衛が弁天小僧の親で、浜松屋の養子の宗之助が日本駄右衛門の実子だということが判明し、一同は何も取ることなく、稲瀬川堤へと落ち延びます。ここで台詞耳に快く響く事を本位に、七五調の美文をつらね銘々の名乗りがあります。「志ら浪」と書かれた傘をさし、浜松屋で登場した日本駄右衛門、弁天小僧菊之助、南郷力丸のほか、忠信利平、赤星十三郎が派手な着物を着て取手に囲まれながら悠々と自己紹介をする名場面があります。

あなたも歌舞伎の舞台に立ちませんか

新城歌舞伎は江戸時代以降、幾度か中断すると言う苦難の歴史の中で現在若手中心とした活動をしています。楽しみと交流の場であった村の歌舞伎は長年に渡り先輩たちが築いてくれた「ふるさと新城」の大きな文化遺産となっております。この貴重な伝統文化を保存し、未来へ継承していくことが今を生きる私たちの責任です。少しでも歌舞伎に興味をお持ちの方、私たちと舞台に立ちませんか。子供から大人まで皆様のご参加をお待ちしております。

お問合せ 新城歌舞伎事務局 新城文化会館 ☎053612312122